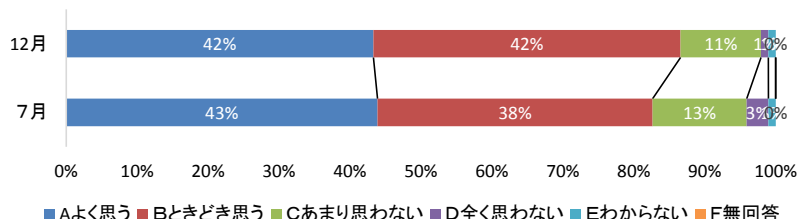


2019年度 宇部市立桃山中学校 2学期学校評価集計結果(保護者用 1, 2学期の比較)

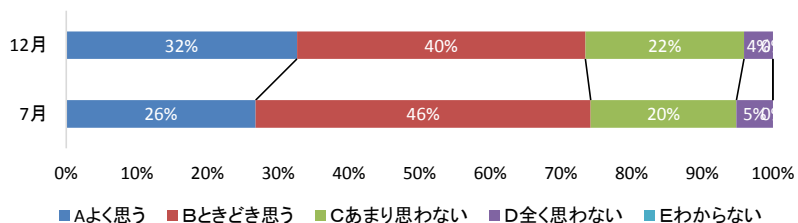
1 学校に行くのを楽しみにしている



・1, 2学期ともに、「よく思う」「ときどき思う」とする保護者が80%を超えており、学校に楽しく通っていると受け止めている。

・生徒評価においても、88%が登校に楽しみを感じており、保護者とほぼ同率である。

2 学校の学習に意欲的に取り組んでいる

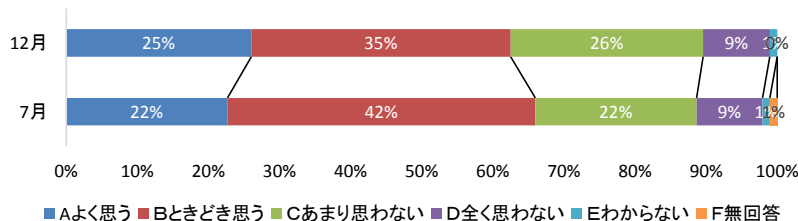


・「よく思う」「ときどき思う」など、72%の保護者が学習意欲を感じている。

・「あまり思わない」「全く思わない」の割合が26%あり、学習意欲に満足していない保護者の割合も高い。

・効果的にグループ学習を導入するなど、新学習指導要領が求める「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をさらに推進したい。

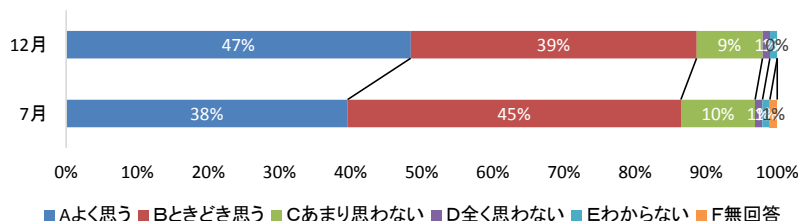
3 自ら机について家庭学習の習慣がついている



・肯定的な回答が64%から60%に減少しており、「あまり思わない」「全く思わない」などの否定的な回答が35%であることから、家庭学習習慣の定着が急務である。

・メディアコントロールの指導を徹底するとともに、家庭学習の仕方をわかりやすく提示するなど、質・量ともに充実した学習となるよう支援していく必要がある。小中一貫教育の取組とともに推進を強化したい。

4 規律ある学校生活を送っている

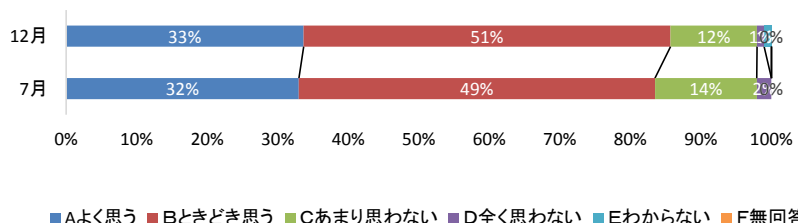


・「よく思う」「ときどき思う」を含めると86%の保護者が規律ある生活ができているとらえている。

・10%の保護者が否定的な回答をしている。

・生徒会主体の「あ・じ・み・そ・ことば」推奨により、規律のある学校生活の実現を図っている。新生徒会の取組により、さらに効果が高まることを期待する。

5 時と場に応じた行動や人を思いやる言葉づかいができる

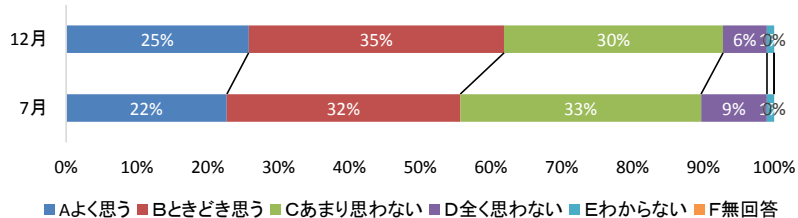


・保護者の84%が時と場に応じた言動ができているとらえている一方、「あまり思わない」「まったく思わない」が13%あり、他者への言動を課題とらえている保護者の割合も高い。

・思いやりの心はいじめの防止、根絶に直結する。学び合いのある授業や、道徳の授業等、学校の教育活動全体を通して育成することが重要である。

・ハッピーライフ運動とハッピー桃太郎運動の活性化により、多様な人と関わる機会を増やし、コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係づくりができる生徒を育成していきたい。

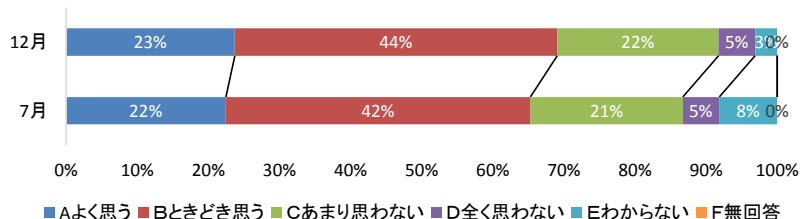
6 将来の夢やつきたい職業など自分の志を話することができる



・肯定的な回答が60%で、家庭において、将来の夢や進路について親子で話す機会をぜひとも増やしてほしい。

・学校においては、小中一貫教育により9年間を見通して生徒に夢をデザインさせたり、地域の人々との交流からコミュニケーション能力を高めたりする取組やキャリア教育の充実を図りたい。

7 桃山中に誇りをもっている

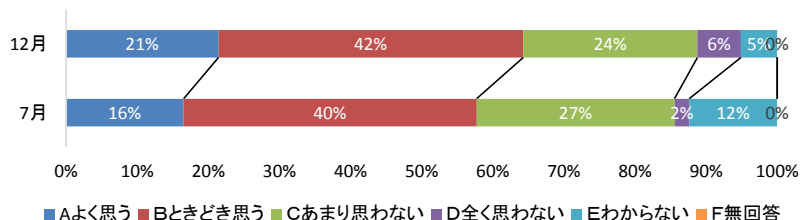


・「よく思う」「ときどき思う」が67%で、生徒の86%に比べてやや低調である。生徒の感じる「誇り」と、保護者の期待する「誇り」との間に齟齬が生じている結果かもしれない。

・「あまり思わない」「まったく思わない」が27%で、子どもが誇りを実感できていないとする保護者の割合が高い。

・「誇りのもてる生徒の育成」は小中共通した学校教育目標である。本校の特色ある教育活動であるハッピーライフ運動、ハッピー桃太郎運動、自問清掃等の取組を充実させることで、生徒が誇りをもつことへの意識を一層高めていきたい。

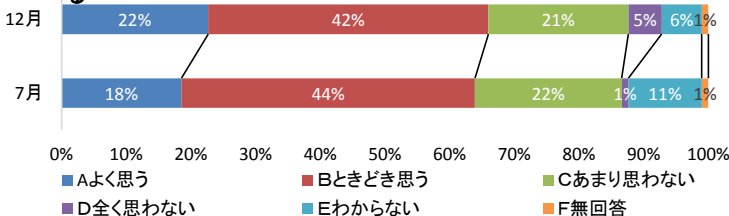
8 9年間を見通した小中一貫教育が推進できている



・「よく思う」「ときどき思う」を含めると、63%の保護者が小中一貫教育の成果を感じている。

・「あまり思わない」「まったく思わない」が30%で、小中一貫教育の取組に課題を感じている保護者もある。また、「わからない」とする保護者が5%あり、取組の充実はもとより、新川小、小羽山小と協力して、小中一貫教育の充実と取組状況の周知を図っていききたい。

9 地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)ができている

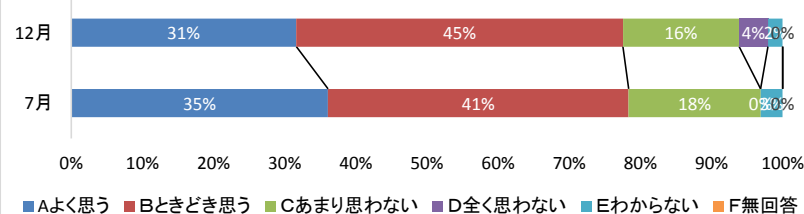


・「よく思う」「ときどき思う」を含めると64%の保護者がコミュニティ・スクールの取組に一定の成果を感じている。ハッピー桃太郎運動が年々定着してきたことも要因にあると考える。

・「あまり思わない」「全く思わない」が26%で、「わからない」が6%あることから、取組の周知をさらに促進する必要がある。

・コミュニティ・スクールは、学校運営・学校支援・地域貢献の三位一体となった取組が期待されている。生徒、教職員、保護者、地域がより積極的な参画意識をもち、活動の充実を図っていくことが急務である。

10 学校だよりやホームページ等により、学校の情報が発信されている



・76%の保護者が「よく思う」「ときどき思う」と回答しており、昨年度同時期の74%より、わずかではあるが上昇している。

・「全く思わない」が4%あり、学校だより、学年だより、メール配信、学校ホームページ等により、学校情報の発信をさらに促進したい。